



## 子どもとケータイの問題に関する動向と課題

2009年11月13日

ヤフー株式会社  
CCO兼法務本部長 別所直哉



## 政府・自治体の動向

### 政府

青少年インターネット環境整備法  
2009年4月施行

出会い系サイト規制法 改正  
2009年12月施行

インターネット異性紹介事業を利用して、児童を誘引する行為の規制等に関する法律

### 自治体

いしかわ子ども総合条例 改正  
2010年1月施行予定

「保護者は、生徒が、防災や防犯、その他特別な目的を除き、携帯電話端末等を持たせないよう努めるものとする」と盛り込み、原則として小・中学生が携帯電話を所持しないよう、保護者の努力義務として定めたもの、議員立法、他に埼玉県なども検討中。



## 出会い系サイト規制法改正による変化

### サイト運営事業者

- 届出の義務化
- 年齢確認の義務化

### 利用者

- 年齢確認の義務化

**舞台は、コミュニティサイトへ**

コミュニティサイト  
SNS・掲示板・ブログなど、他人との交流を前提とした機能を備えるウェブサイト



## コミュニティサイト運営事業者の取組み

### ほぼ全ての事業者が行っている取組み

- (1) 匿名投稿の禁止
- (2) 利用規約による悪用禁止

### 大手の事業者が行っている取組み

- (3) 不適切な投稿の削除
- (4) 24時間365日のリアルタイム監視  
(二者間のメッセージ内容の監視)



## 第三者審査機関の取組み

### 第三者審査機関

- コミュニティサイトの運用管理体制の審査、および、審査後の運用の監視を行う。

審査済みサイトは、事後監視体制について一定の水準に達していると言える。

**しかし、実際には、審査済みサイトでも、子どもが巻き込まれる重大犯罪が発生している。**



## 取組みの偏りによる効果と課題

[事前対策の不足]



一定の水準を達している取組みが、  
事件の発生を防げないのはなぜか？

一定の成果を上げている「事後の対策」に対し、「事前の対策」は未整備状態

### 事前の対策

- 大人から子どもへのメッセージ送信禁止 (年齢認証)
- 同時多数送信者への注意喚起・利用停止
- 年齢に応じたサービスの設定(ゾーニング)

### 事後の対策

- 不適切な投稿の削除
- 24時間365日のリアルタイム監視



## Y! 年齢認証

1. サイト毎に年齢を確認する方法
 

各サイト運営者がコストを負担する。
2. 携帯電話契約の情報を利用する方法
 

携帯電話事業者への負担が集中する。

**サイト運営者が責任をとる姿勢をみせるべき**

7 YAHOO! JAPAN

## Y! 取組みの偏りによる効果と課題

[第三者審査機関の問題点]

- 審査に合格したとしても、事件は発生している。  
100%安全ではないにも関わらず、「健全」として流布されているため、保護者や利用者の注意力が落ち、かえって危険な状況を生んでいる。
- 「資産・審査内容について透明性が不足している」というPTA等からの指摘に答えられていない。

各コミュニティサイトからの出資額・資産状況の公開促進

審査基準・内容・手法の開示促進

8 YAHOO! JAPAN

## Y! 今後の展望

[コミュニティサイト運営者]

- コミュニティサイト運営者は被害防止のために取組みを行っているが、充分とはいえない。  
さらなる努力が必要。
- 学校・PTA・保護者の連携が不可欠

9 YAHOO! JAPAN

## Y! 今後の展望

[携帯電話会社・フィルタリング事業者]

1. フィルタリング機能の向上(カスタマイズ可能化)
2. 保護者がわかりやすいリスク情報の提供
3. PTAなどへの啓発活動支援

子どもたちのインターネット利用について考える研究会

第1期 「コミュニティサイトに関するリスク情報を提案」  
第2期 「子どもの判断能力・コミュニケーションレベルに合わせた段階的利用方法の提案」

10 YAHOO! JAPAN

